

建築物の解体等現場における大気中の石綿測定方法及び評価方法(素案)

(1)測定箇所	施工区画と一般環境との境界 (施工区画境界)		集じん・排気装置の 排気口の直近 又は、排気ダクトの中	参考 資料 1
(2)測定又は 試料採取 の時期	特定粉じん排出等作業を開始した直後 の作業中		作業開始前及び作業中	
(3 - 1) 試料採取方法	フィルター径	25mm	デジタル粉じん計 パーティクルカウンター 繊維状粒子自動測定器 等の繊維等の測定機器によ り、繊維数濃度等を測定す る。	参考 資料 2 3 4
	有効面積	380mm ²		
	採取時間	90分		
	吸引速度	5L/分		
	吸引空気量	450L		
	検出下限値	0.12本/L		
(3 - 2) 分析方法	位相差顕微鏡法(PCM)で総繊維を 計数する。 総繊維数が1本/Lを上回った場合 は、電子顕微鏡法により石綿繊維数濃 度を求める。			
(4)評価方法	石綿繊維数濃度基準 : 1本/リットル		解体等作業の影響を受けな い一般環境における繊維数 濃度等と比較	参考 資料 5
(5)対象	特定工事。ただし、以下の作業を除く。 ・石綿を含有する断熱材、保温材及び 耐火被覆材(吹付け石綿を除く)を除去 する作業であって、掻き落とし、切断、 又は破碎以外の方法で除去するもの ・特定建築材料を除去する面積が20m ² 未満である作業		全ての特定工事	参考 資料 6 7